「テロ対策パートナーシップ和歌山」通信【第10号】

令和２年８月31日

テロ対策パートナーシップ
和歌山事務局

和歌山県太地町におけるイルカ漁を取り巻く情勢

太地町で行われているイルカ漁（鯨類追い込み網漁業）等をめぐり、反捕鯨団体等が抗議活動に取り組んでいます。これに伴いこれまで、過激な環境保護団体「シー・シェパード」による漁業用網の切断事件や古式捕鯨を象徴するモニュメント損壊事件のほか、他の海外の動物権利団体によるイルカショー妨害事件が発生しています。

また、これ以外にも太地町内の鯨類飼育用の生け簀網が切断され、飼育中のイルカが逃げ出す事件も発生しています。さらに、令和元年７月、商業捕鯨が31年ぶりに再開され、本年７月には太地町の森浦湾にイルカ等を放し飼いにして触れあい事業や研究等を行う「鯨の海」が開業されるなど、捕鯨等をめぐる抗議動向は、予断を許さない情勢にあります。

このほか、平成27年９月以降、国内のウェブサイトが閲覧不能に陥る事案が連続的に発生しており、国際ハッカー集団「アノニマス」を名乗る者が、犯行声明とともにイルカ漁や捕鯨に対する抗議をインターネット上に投稿するなど、サイバー空間における抗議活動も見られるところです。

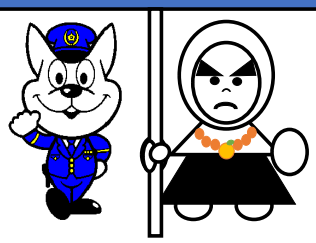
警察では、違法事案の未然防止と事案発生時の的確な対応のため、「太地町特別警戒本部」を設置し、同町内の「太地町特別警戒本部現地警戒所」を拠点に警戒活動を推進するとともに、海上保安庁や出入国在留管理庁等の関係機関との連携を強化しています。

太地町特別警戒本部現地警戒所(R2.2)

違法事案対処合同訓練

左同

会員の皆様が実施されたテロ対策に関する活動状況をお寄せください。



テロ対策パートナーシップ
和　歌　山　事　務　局
電話　073-423-0110
（内線　5825・5826）

テロ対処訓練実施のご紹介

本年６月23日、ＪＲ湯浅駅前の新規集客施設（湯浅えき蔵）において、施設管理者、ＪＲ職員及び警察合同で「施設に刃物を持った不審者が侵入し、爆発物を仕掛けた」との想定の下、訓練を行い、テロ対処能力の向上を図りました。

不審者制圧

避難誘導

爆発物処理